

うたごえは平和の力

安保破棄・全面軍縮のうたごえを

国のすみずみに

うたごえ新聞

編集 日本うたごえ実行委員会
発行 うたごえ新聞社
東京都新宿区西大久保3の67
電話 (381) 5220-1
1カ月 30円(平共)
3カ月 90円、6カ月 180円、1年350円

倍加を達成し、いのち新たな
うたごえを更にひろめよう!

拡大全国合唱団会議開かる

一九六〇年日本のうたごえ祭典の第四日日本うたごえ総会後、拡大全国合唱団会議が開かれた。参加合唱団は、鹿児島青年合唱団、九州青年合唱団、岡山合唱団、神戸青年合唱団、関西合唱団、岐阜ひまわり合唱団、名古屋青年合唱団、神奈川合唱団、中央合唱団、福島合唱団、仙台合唱団、浜松センター合唱団、滋賀みづみ合唱団、群馬合唱団、北海道合唱団(加賀団)等、三池三川うたごえ行動隊、大牟田センター合唱団、下関市民合唱団、岐阜市の合唱団、山梨さんくり合唱団、増城合唱団、合唱団白り合唱団、埼玉合唱団、合唱団白り合唱団、新潟合唱団、福島合唱団、山梨合唱団(未加団)等、以上十五団及び日本うたごえ事務局を議長センターが参加した。一九六〇年日本のうたごえ祭典は、安保三池を闘った国民の前進を反映し成功をおさめ、運動の飛躍的発展の夢をつくりだすの新しい前哨戦を始める。これに対し、今春国際的な力で開かれる世界音楽祭をはじめ、新安保撤廃の攻撃が始まっている時期に、全国合唱団会議の開催が、この意に立って五月迄に全国の中心地として開催された。開催の中で、全国合唱団会議の活動における、自分の地域や自分の合唱団の立場に立ち全国の立場、運動全体の立場に立っての傾向のため、全国的連帯性を発揮出来ていない点が強く反省された。さらに運動の発展にどうして最も重要な事はうたごえの拡大強化、全国の中心合唱団と全国合唱団会議の拡大強化である事が確認された。

正月返上で全国合唱団決議実践へ

中央合唱団43期研究生募集活動

中央合唱団43期中部・南部研究生百名組織活動は、全国合唱団会議で決定した中心合唱団倍加第一回「みんなうたごえ」を牛運動の先頭をきいて、十二月の石巻大日本愛国党の妨害をけり、正月返上してこの活動を成功させよう、とすすめている。

私達は東京世界音楽祭の開催に反対します。

私達は東西音楽の出会いをテーマとして、東京世界音楽祭が、一九六一年春東京で開かれることを知り、この音楽祭の内容を検討した結果、

一、この音楽祭には、ソヴェト・中国・朝鮮を始めとする社会主義諸国が参加していない一方の性格をもった音楽祭である。

二、主催団体である国際文化自由会議は、今迄反ソヴェト反共の活動を進めていた。

三、音楽祭の企画内容は、日本の音楽家、評論家の自主性を全く無視して一方的に、決り合唱団、埼玉合唱団、合唱団白り合唱団、新潟合唱団、福島合唱団、山梨合唱団(未加団)等、以上十五団及び日本うたごえ事務局を議長センターが参加した。一九六〇年日本のうたごえ祭典は、安保三池を闘った国民の前進を反映し成功をおさめ、運動の飛躍的発展の夢をつくりだすの新しい前哨戦を始める。これに対し、今春国際的な力で開かれる世界音楽祭をはじめ、新安保撤廃の攻撃が始まっている時期に、全国合唱団会議の開催が、この意に立って五月迄に全国の中心地として開催された。開催の中で、全国合唱団会議の活動における、自分の地域や自分の合唱団の立場に立ち全国の立場、運動全体の立場に立っての傾向のため、全国的連帯性を発揮出来ていない点が強く反省された。さらに運動の発展にどうして最も重要な事はうたごえの拡大強化、全国の中心合唱団と全国合唱団会議の拡大強化である事が確認された。



私達は東京世界音楽祭の開催に反対します

こと明らかであります。このような性格の世界音楽祭の東京に於ける開催は、国際文化交流の名のもとに文化侵略を激化するものであり、真の世界音楽祭ではないと考へます。

日本国民は、ソヴェトを始め、平和と音楽を愛する世界の民々と、交流し、世界を平和にするために活動することを怠るべきではありません。

一九六〇年十一月十日、日本うたごえ実行委員会



国内・外からの年賀状

- 中国音楽家協会 東京勤労者音楽協議会
- 中国人民対外文化協会 三人の会 団伊秋磨・芥川
- 中華全国青年連合会 也寸志・篠敏郎
- 中国婦女連合会 日本共産党 野坂 参三
- 朝鮮対外文化連絡協会 沖繩人民党中央常任委員会
- 朝鮮作家同盟 原水爆禁止日本協議会
- 朝鮮中央放送委員会 日中国交回復国民会議
- ソヴェト平和委員会 日ソ協会
- ソヴェト婦人委員会 日本中国友好協会
- ソヴェト青年委員会 日本母親大会連絡会
- モスクワ放送局 日本青年団協議会
- ティナドルリヤク教授 東京平和委員会
- ドイツ平和委員会 日本国民救済会
- 世界民主青年連盟 日本ソヴェトナム友好協会
- 在日朝鮮中央芸術団 前池座 一同
- 在日本朝鮮青年同盟 ぶどうの会

本当に多くの事を見、学んだ

三池三川うたごえ行動隊

昨年の日本のうたごえ祭典に、始めて参加し、祭典のすばらしさ活動と有難い交流を残して帰郷した三池三川うたごえ行動隊が、関野先生へお礼の手紙が来ているのを中央合唱団の機関紙より転載紹介します。

参加した「かい」あった日本

「かい」は、日本のうたごえ祭典にあり、初めに参加した「かい」が、三池三川うたごえ行動隊が、関野先生へお礼の手紙が来ているのを中央合唱団の機関紙より転載紹介します。

更に頑張るつもりだったのに、「いや三池がもったのだから三池が一位で宮浦が二位はおかしい」「いやか」等々色々言いました。「アカハタ」も引っぱり出し荒木さんの意見をきき「どうしてか」も出来るものじゃないと思いましたが、少しはみんなわかってました。

「うまればいなくて一位のほりを持って、ますます頑張ろうという事になりました。分科会での報告を出し合い大祭典のあの素晴らしいさ、働く者、闘う仲間の大勢に力をつけられ、頭がパツパツになりました。本場に多くの事を見、学びました。

又始めて参加し非常なショックを受けた「全国合唱団拡大会議」の報告もメモをもとにしっかりと聞いておりました。一行一行みんな理解し合い中心合唱団、日本うたごえ行動隊の姿、来年の「東京世界音楽祭」の「倍化」「全うす」「井先生」の事を話し合い知り合いました。

(以下次頁)

1961年 新年あけましておめでとうございます

- 全国鉄コ1ラス
- 炭鉱全国うたごえ
- サ1クル協議会
- 全電通コ1ラス
- サ1クル協議会
- 東京都百貨店
- コ1ラス協議会
- 全日本電機々器
- 労働組合連合会
- 全日本金属鉱山労働組合
- 連合会 教 宣 部
- 日本私鉄労働組合総連合会
- 青年 婦 人 部
- 東 交 合 唱 団
- 宮 城 県 う た ご え
- サ1クル協議会
- 群馬県うたごえ協議会
- 関東合唱団会議
- 東京うたごえ協議会
- 大阪合唱団体連絡協議会
- 全九州合唱団会議
- 全国合唱団会議